

# 小浜市内に残る 疫病祈願

～新型コロナウイルス早期収束祈願～

# 疫病祈願

人々は、昔からたびたび天然痘（疱瘡）や麻疹など疫病に苦しめられ、おびえてきました。

昔は、ウイルスという概念がなかったため、形のないものを恐れ、その収束を神や仏などに祈願してきました。

また、こうした疫病の流行は、疫病をもたらすと信じられていた神や非業の死をとげたもののしわざなどとも考えられていました。

中でも、疱瘡は伝染性が強く、最も恐れられていた疫病のひとつでした。疱瘡をたもたらすと考えられていた疱瘡神は、異形の老人の疫姿が各地に現れ、歓迎した人が疱瘡から守られる札を授かるといふ伝説などがあります。

小浜には、戦国時代の豪商であつた組屋六郎左衛門と疱瘡神の伝説があり、疱瘡あ病の流行を病しずめるために六斎念仏を誦したとあり、このほかに、疫

現在、ウイルスや感染症に對する知識や医療水準は高まり、私たちはウイルスにこ病つうを恐れ、各々自衛で感染を抑え、適切な対策を講ずる目ま

# 小浜の豪商組屋と疱瘡神

組屋六郎左衛門は、小浜の豪商で豊臣家や領主の保護を受け、廻船や交易で全国をはじめ海外でも活躍しました。

略縁起などによると、永禄年間（1558～1570）に、組屋六郎左衛門が航海中、遭難しそうになりましたが、港に送り届けるように風が吹き、無事に小浜に帰りつくことができました。

その際、船中から異形の姿をした老人が現れたため、組屋は不思議に思いながらも、小浜の家で大切にもてなしました。

老人は、自分が疱瘡神であることを告げたうえで、六郎左衛門の名前を書いた札が貼ってある家には入らないことを約束して立ち去りました。

以後は、こうした縁起により、疱瘡よけの御守として信仰をあつめました。

小浜は、日本遺産にも認定された北前船の寄港地であり、海外貿易も重要な港町であり、廻船業などで町が賑わっていたことがうかがえます。

# 疱瘡御守札と疱瘡神御影

(小浜市教育委員会所蔵)

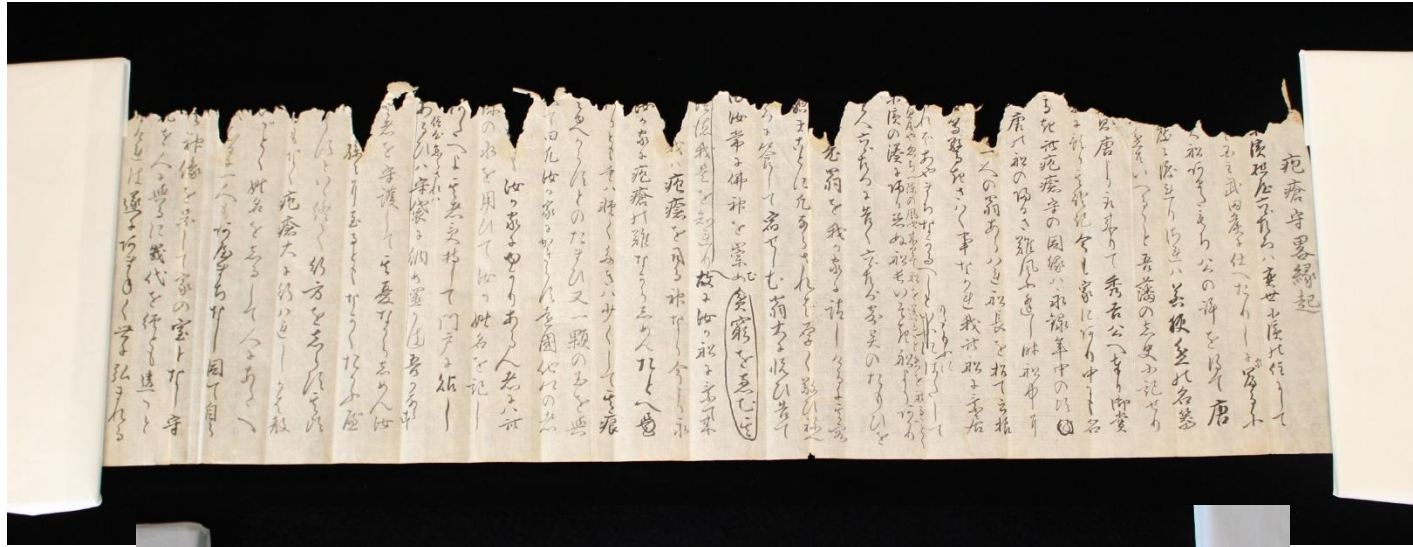


疱瘡御守札には、「若狭小浜組屋六郎左衛門」と記されています。この札を貼った家には疱瘡神が入らないと約束したことから、疱瘡よけの御守になると伝えられています。

疱瘡神御影は、疱瘡神が異形の老人の姿で描かれています。

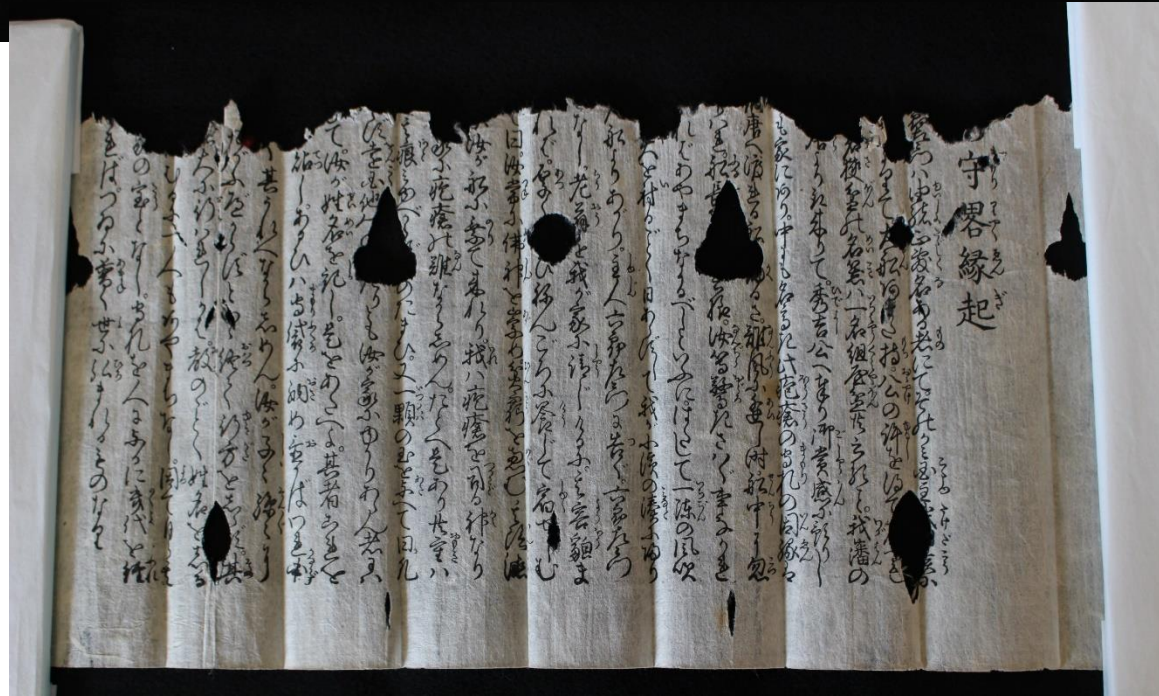
# 疱瘡守略縁起

(小浜市教育委員会蔵)



組屋六郎左衛門と疱瘡神との伝承が記されています。

略縁起によると、組屋六郎左衛門は、日頃から信仰深く、あつくもてなしたことを疱瘡神は大変喜び、疱瘡よけの御守を授けるに至ったことなどが記されています。



# 奈胡の六斎念仏



小浜市奈胡に伝わる六斎念仏は、奈胡六斎念仏保存会により、8月14日の早朝から夕刻にかけて地区内の公的行事として執り行われる。

ここの六斎念仏は、地区内に疫病が蔓延し多数の犠牲者が出たのを機に、これを鎮めようと山越えの阿納地区に伝わるものを習い覚えて受容したのがことの始まりと伝えられている。

# 木造釈迦如来坐像

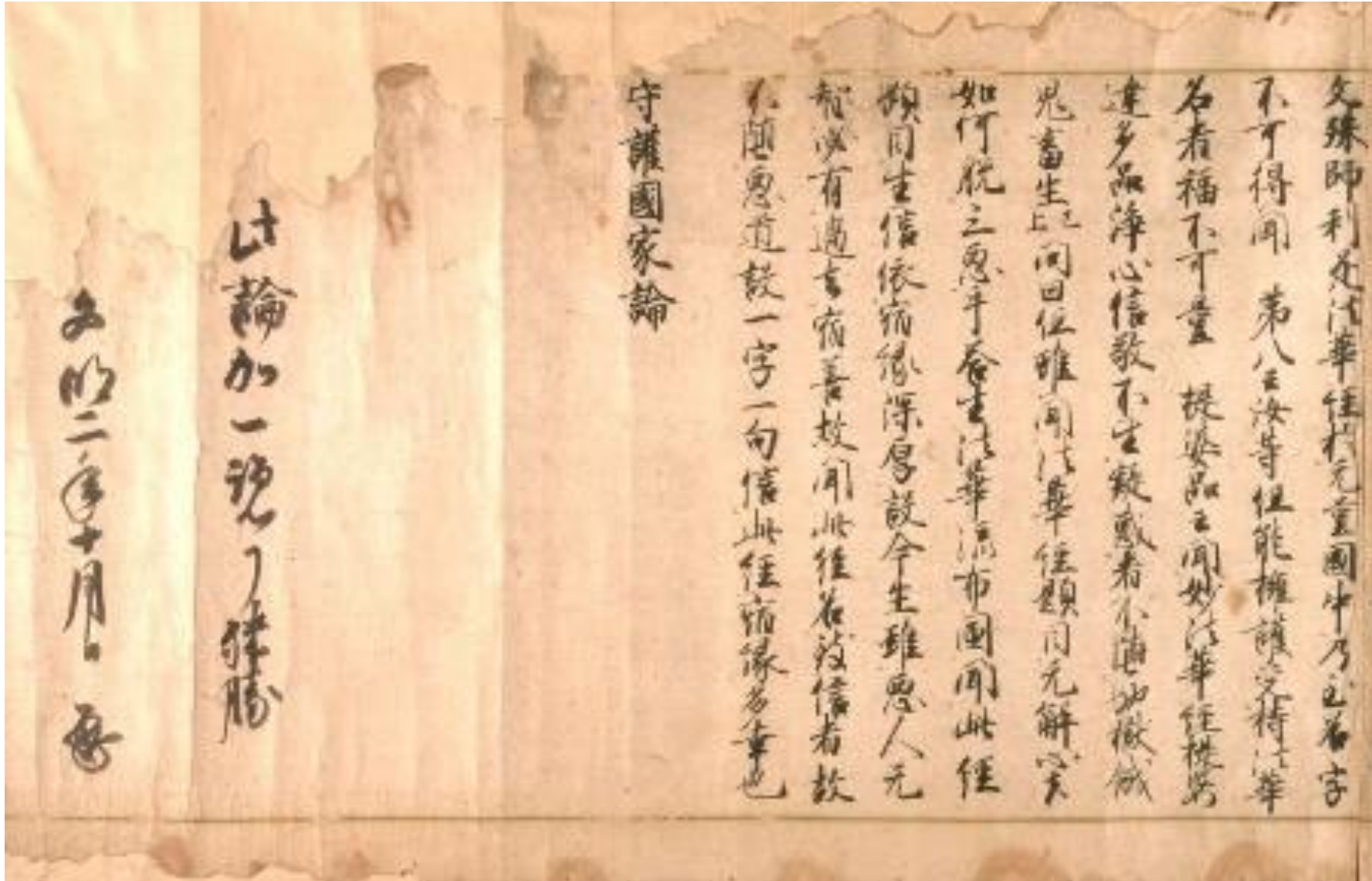
(管理者：曹洞宗国分寺)



凶作と疫病から万民を救わんとする聖武天皇の発願によって、天平9年(737)国ごとに丈六釈迦像1軀、脇侍2軀の造像と、大般若経各1部の写経を命じ、同12年には七重塔1基、七尺観音像1軀の造立と法華経10部、観音経10巻の写しを命じ、翌13年には国分寺を二寺に分けて、僧寺を「金光明四天王護国之寺」、尼寺を「法華滅罪之寺」と命名したといわれるが、ここ国分の里は、かつて太平壮嚴の美を現じた若狭国分寺跡である。

# 紙本墨書守護国家論 1 卷

この「守護国家論」は、日蓮聖人が折柄続発する飢餓疫病など災害の根拠を緒経に求めて閲読精究し、正元元年（1259）38才のとき「災難興起由来」と共に撰述したものである。内容は謗法邪義の他宗を論難し、法華經受持による鎮護国家の思想を演述したもので、翌文応元年7月北条時頼に上呈した「立正安国論」は、とりわけ「守護国家論」を集約したものとされている。





# 絹本著色十二天像 六曲一双

(管理者：高野山真言宗羽賀寺)



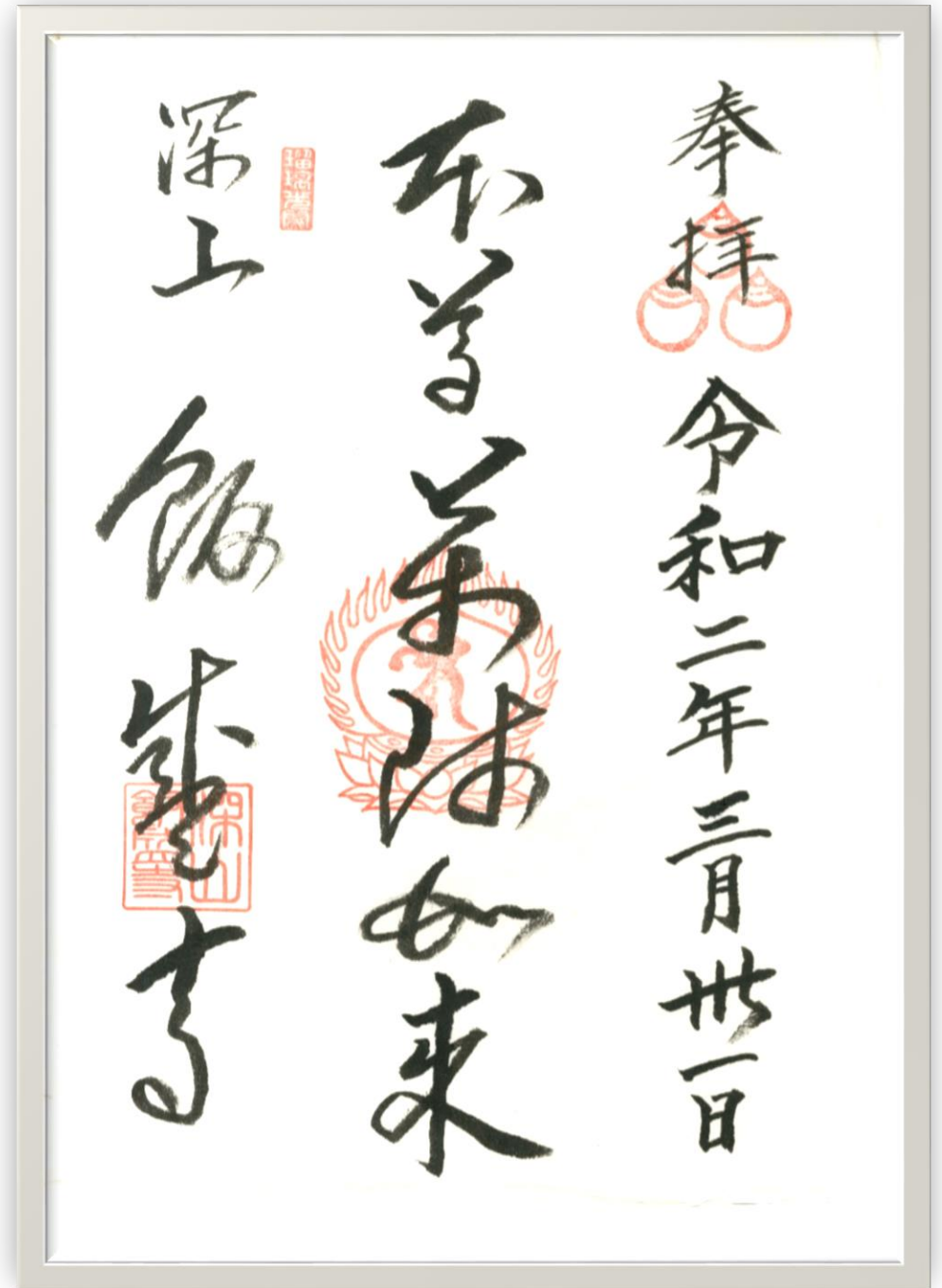
天とは、古代インドの神話に登場する神々が、釈尊に教化され新たに仏教守護神となった多数の像である。

その中でも十二天は、方位の八方角（東・帝釈天、東南・火天、南・焰魔天、西南・羅刹天、西・水天、西北・風天、北・毘沙門天、東北・伊舎那天）と、天（梵天）、地（地天）二方を守護する十尊に、日（日天）、月（月天）の二尊を加えて十二尊として構成され、密教では重要な役目を担う。

十二天像は、主に鎮護国家・疫病削除を目的に、五大明王と一具で製作される場合があり、東寺伝来絵画の中には、宮中真言院で行われた後七日御修法に使用された十二天掛幅と、伝法灌頂等に用いられた十二天屏風がある。

# 飯盛寺 御朱印

高野山真言宗。  
本尊は薬師如来。  
秘仏で小浜市指定文化財。  
病気平癒のご利益があるといわれている。



# 神宮寺 御朱印

天台宗。  
本尊は薬師如来。  
神仏混淆寺院です。  
毎年3月2日に行われる「お水送り」神事が有名  
です。  
病気平癒のご利益があるといわれている。

